

女川地域原子力防災協議会（第2回）

議事要旨

1. 開催要領

開催日時：令和2年6月17日（水）17：45～18：02

場 所：中央合同庁舎第8号館災害対策本部会議室（テレビ会議）

出席者：別紙のとおり

2. 議事次第

議題 「女川地域の緊急時対応」の改定について

3. 配付資料

資料1 女川地域原子力防災協議会の構成員について

資料2 「女川地域の緊急時対応」の改定について

資料3 女川地域の緊急時対応（概要版）

資料4 女川地域の緊急時対応（全体版）

4. 会議概要

- 荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、女川地域原子力防災協議会（第2回）開催に係る趣旨を説明。
- 橋場内閣府地域原子力防災推進官から、資料2に基づき「女川地域の緊急時対応」の改定について説明。
- 荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、宮城県に対して、内閣府の説明等を踏まえて、宮城県として今後具体的にどのような取

組を実施していくのかを確認。

遠藤宮城県副知事から、感染症流行下における避難所等での感染拡大防止対策を検討しているところであり、具体的には、感染者の避難対応を県が主体的に実施するほか、感染者以外の方はマスクの着用、消毒、距離の確保等の基本的な対策を実施した上で、避難所の滞在区域を、感染疑い者と健常者とでできる限り分離する方向で検討を進めていること。また、それらに必要な避難所スペースの確保や衛生資機材の確保を各市町村で準備を進めているとともに、県においても、避難所運営のために市町村が備蓄する衛生資機材を補完するため、マスク、消毒液、非接触型体温計の三品目について備蓄を行う予定であること。なお、原子力災害発生時には、広域避難に伴う移動や避難退域時検査など固有の対応が必要となるため、バスや福祉車両等の移動手段の十分な確保のほか、避難退域時検査場所や避難所における人員配置や衛生資機材の確保など、感染症対策を適切に講じる旨、回答。

- 荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、東北電力（株）に対して、内閣府の説明等を踏まえて、東北電力として今後具体的にどのような取組を実施していくのかを確認。

増子東北電力（株）副社長執行役員原子力本部長から、福祉車両の配備、避難退域時検査の要員や機材の提供等について支援することとしているが、今回の感染症流行下における対策を踏まえ、更なる支援として福祉車両の追加配備、避難退域時検査における要員の増員やマスク等の衛生資材の提供について検討しており、事業者に求められる対応について、関係自治体と相談しながら、しっかりと対応していく旨、回答。

- 荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、原子力規制庁及び厚生労働省に対して、今回の改定が、原子力災害時における防護措置と、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく行動計画等による感染防止対策を可能な限り両立させることで、感染症流行下での原子力災害対策に万全を期すことを前提とした内容となっていることについてコメントがあるか確認。

原子力規制庁より、異論がない旨、回答。

厚生労働省より、内閣府から説明があった感染症流行下での防護措置の基本的な考え方に基づき、厚生労働省として必要な助言等をしていく旨、回答。

- 荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、各府省庁からの発言があるか確認。

関係府省庁から発言なし。

- 荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、宮城県に対して、「女川地域の緊急時対応」に対する意見について確認。

遠藤宮城県副知事から、今般の新型コロナウイルス感染症の発生を受け、「女川地域の緊急時対応」について、避難所における三つの密の回避などの感染症拡大防止の観点を取り入れた防護措置が追加されたこと。今後、避難所や移動手段の確保などについて更なる具体化を図るほか、原子力防災訓練による検証結果を踏まえ、改善していくこと。なお、政府は原子炉施設の安全対策に止まらず、防災対策についてもその責任をしっかりと果たし、十分な支援をお願いしたい旨、発

言。

- 荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、関係市町からの発言があるか確認。

関係市町から発言なし。

- 本会議のまとめとして、荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、女川地域原子力防災協議会として、女川地域の緊急時対応のより一層の具体化・充実化を図るものとして、「女川地域の緊急時対応」の改定を行うことを確認。

また、第1回協議会で確認した内容と今回改定した内容を、原子力防災会議に内閣府から報告するとともに、今後訓練等を実施し、その結果を検証し、計画等の不断の改善に繋げていく出発点とする旨、発言。

(以 上)

出席者一覧

(別 紙)

(構成員)

荒木 真一 内閣府政策統括官（原子力防災担当）
山田 知穂 原子力規制庁長官官房核物質・放射線総括審議官
松本 裕之 内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付危機管理審議官
村手 聰 内閣府大臣官房審議官（防災担当）
田嶋 仁史 （代理出席）警察庁警備局警備運用部警備第二課特殊警備対策官
上野 弘文 （代理出席）総務省大臣官房総務課課長補佐
三浦 宏 （代理出席）消防庁予防課特殊災害室長
清浦 隆 （代理出席）文部科学省研究開発局原子力課長
大坪 寛子 厚生労働省大臣官房審議官（危機管理担当）
岩濱 洋海 農林水産省大臣官房危機管理・政策立案総括審議官
覚道 崇文 経済産業省資源エネルギー庁資源エネルギー政策統括調整官
山上 範芳 國土交通省大臣官房危機管理・運輸安全政策審議官
鈴木 史朗 海上保安庁総務部参事官（警備救難部担当）
関谷 肇史 （代理出席）環境省水・大気環境局総務課長
町田 一仁 防衛省大臣官房審議官
遠藤 信哉 宮城県副知事

(オブザーバー)

須田 善明 女川町長
亀山 紘 石巻市長
渡邊 誠 登米市副市長
渥美 巖 東松島市長
遠藤 釂雄 涌谷町長
相澤 清一 美里町長
最知 明広 南三陸町副町長
増子 次郎 東北電力株式会社副社長執行役員原子力本部長

(内閣府)

佐藤 晓 内閣府大臣官房審議官（原子力防災担当）
坂内 俊洋 内閣府政策統括官（原子力防災担当）付参事官（地域防災担当）
橋場 芳文 内閣府政策統括官（原子力防災担当）付参事官（地域防災担当）付
地域原子力防災推進官